

第8回 SPARC Japanセミナー2010

世界における“日本の論文/日本の学術誌”のインパクト

日 時 : 平成23年2月3日 (木) 13:30~17:00
場 所 : 学術総合センター 2階 中会議場 1, 2 (定員120名)
U R L : <http://www.nii.ac.jp/sparc/>



予告

日本の研究論文/学術誌は、今、世界の中でどのような位置にあるのでしょうか。

2010年12月に、時を同じくして「世界における“日本の論文/日本の学術誌”のインパクト」を異なる観点から調査分析した2つの報告書が出されました。

国立情報学研究所・根岸名誉教授による「日本の学術論文と学術雑誌の位置付けに関する計量的調査分析」では、いわゆる日本の研究論文の海外流出率や、日本誌の世界的位置付けに関する諸指標が明らかになっています。当該調査の前段階にあたる2003年発表の調査結果にもとづき、「国際学術情報流通基盤整備事業 (SPARC Japan)」の事業が展開されました。その成果と今後の課題についても、言及されています。

科学技術政策研究所・阪主任研究官による「科学研究のベンチマーキング2010-論文分析でみる世界の研究活動の変化と日本の状況-」では、我が国の科学研究のベンチマーキングとして、個別指標(①論文数、②Top10%論文数、③被引用数)と、複合指標(④論文数に対するTop10%論文数の占める割合、⑤相対被引用度)により、多角的に主要国を分析し、日本の状況を分野ごとに明らかにしています。

このたび、両報告書の著者ご本人による講演をしていただけることとなり、第8回SPARC Japanセミナーとして開催することとなりました。関係各位におかれましては、ぜひご参加いただき、活発なご議論をいただきますよう、ご案内いたします。

◆**プログラム**：司会進行：永井 裕子（日本動物学会）

時間	内容	講師（敬称略）
13:30-13:45	開会挨拶・趣旨説明	
13:45-14:45	「科学研究のベンチマーキング2010-論文分析でみる世界の研究活動の変化と日本の状況」	阪 彩香 (文部科学省 科学技術政策研究所 科学技術基盤調査研究室 主任研究官)
14:45-15:00	休憩	
15:00-16:15	「日本の学術論文と学術雑誌の位置付けに関する計量的調査分析-日本の論文の『海外流出率』の動向を中心として」	根岸 正光 (国立情報学研究所 名誉教授/SPARC Japan運営委員長)
16:15-17:00	ディスカッション	

◆**参加費**：無料

◆**参加申込先**：co_sparc_all@nii.ac.jp

◆**申込方法**：

・氏名・所属・連絡先をご記入のうえ、【第8回SPARCセミナー参加申込】と題して、電子メールまたはFAXにてお申込ください。また、【受付票】を返送しますので、当日ご持参ください。
 ※ご連絡いただいた個人情報、今後のセミナーのご案内と開催変更等の緊急連絡に使用いたしますのでご了承ください。